

《14年ぶりの沖縄訪問》 2015.5 月

先般14年ぶりに仕事関係で沖縄を訪問しました。沖縄訪問は10回目でしたが、過去の訪問時には必ず行っていたアメリカンステーキハウスが無くなっていました。当時人気店で米軍関係者もちらほら見かけていましたので時代の変遷を感じずにはいられませんでした。

以前は国際通りの裏路地に行けば地元住民の生活臭がプンプンだったイメージがありましたが、今は開発が進み、商店のスタイルがアジア風、中国風に変化してきていることが感じられました。以前の沖縄独自の雰囲気が減ってきているのは残念でしたが、中国人、韓国人、タイ人などの観光客が多く、特に中国人の爆買いが沖縄の観光業を支えているようです。

昔ながらの沖縄を確認しようと市場本通りの商店街に行きました。別のステーキ屋さんでリベンジし、満腹状態で散策していたところ「氷」の暖簾を発見してしまいました。「かき氷」は私の大好物です。そこでお店のお姉さんに一番人気のかき氷は？と聞くと、「白玉黒糖金時入ミルク氷です。」「氷が出来上がるまでサーターアンダーギーはいかが？」などと勧められ、ゴマ入りのものと、かき氷を注文してしまいました。

満腹状態にもかかわらず黒ゴマのサーターアンダーギーは絶品でした。またその



後出てきたかき氷も感動モノでした。氷は砕いたものでなく、パウダースノーのように細かく、見事な食感で、甘すぎずバランスが抜群でした。「明日も来ます！」と思わず答えてしまいました。(ちなみに翌日も同じメニューでいただき

ました)

サーターアンダーギーは会社と家族へのお土産として買いました。(皆さんの評価は如何?)

その後地元の本屋に行き、どのようなジャンルの本が置かれているのかりサーチしてきましたが、沖縄の独立を煽るコーナーが予想通り設置されており、ここにも中国

の影響が大きいことを実感しました。本土では淘汰されつつあるいわゆる左翼思想が沖縄で猛威を振るっているようです。彼らは本当に日本が嫌いなのですね。その癖に日本語を話し、日本のパスポートを使って世界中を旅しています。どうせなら自分の理想とする国に移住して国籍を取り、その上で日本を非難すればいいのに、それをせずに日本人としてのメリットは誰よりも享受し、甘えの感覚を自覚もせず毒をまき散らしています。きっと彼らは人生がうまくいっていない人達なのでしょうね。

ところで話は沖縄に戻ります。沖縄は益々中国化していくようです。県民の70%以上は独立を望んでいないようですが、マスコミを動かす、言論を統制している勢力が沖縄を誤った方向に導かないか心配です。今後は中国の資本が入ってきて、地元資本は益々中国化していくことでしょう。このままいけば、優しく楽観的で人の良いのんびりとした琉球人氣質の県民性も災いし、あっという間に実質的に中国経済圏に飲み込まれてしまいかねません。

私は中国共産党と中華人民共和国の政権は大嫌いです。が中国人自体に対しては好きでもなく、嫌いでもありません。あくまで人物本位で判断すべきと考えています。この感覚は朝鮮・韓国人や、わが日本国民に対しても同じです。ただし現実にはいやな思いに直面すると「えっ」「ウソやろ!」といった感情が現れ、その人の出自を考えます。そして民族性や国籍、地域性を意識してしまいます。

今やアメリカに行っても台湾に行っても、タイに行っても、マレーシアに行っても、どこに行っても東京や大阪にいても中国人だらけです。沖縄に来てやはり中国人だらけでした。関西人の私としては、日本中で関西人の声の大きさを指摘され、小さくなることもしばしばでしたが、中国人の声のデカさは関西人を凌駕しています。



下記の写真は宿泊先のホテルのビュッフェで私の座っていたテーブルに乗せられた、隣に座っていた中国人カップルの食器です。店員から、「お盆に乗せ、食後はテーブルから持ってきてください」と言われました。手前のお盆に乗っているのが私の食べたものですが、なんと私が荷物を置いて、コーヒーを取りに行き帰ってきたら、隣のカップルの食器が乗っていました。2人はちょっとバツが悪い雰囲気を出していましたが、そのまま話に夢中になってしまいました。また食べ残し(私は自分の取ってきたものは全てきれいに食べました)の豚の角煮を私の食器の上に重ねて置いていましたので、気分が悪く、すぐにその場を立ち去りました。朝から嫌な思いをしました。周囲を見渡したところ、やはり中国人が座っていたテーブルには食器がそのまま放置されていました。

先月歌手の GACKT がフランスで人種差別を受けたことをブログで報告していましたが、この中国人の傍若無人な振る舞いを経験すると、どこの国でも対応策を講じざるを得ず、アジア人の区別がつかない欧米人であれば、アジア人と欧米人を隔離することはやむを得ない行為ではないかと考えてしまいます。金儲けを優先するか、独自のアイデンティティーを優先するか。今後中国人との付き合いを通して、世界が考えていかなければいけないテーマです。

さて沖縄は日本を選択するのか、目先の利益を考えて中国化を選択するのか……。今やアジアの多くの国と同様、その選択を迫られています。今後日本が大きく発展していくことを確信している私としては、複雑な心境です。中国は近い将来分裂していくと予想されますが、我が国は一層一つの国として発展していくでしょう。是非その前の段階で沖縄県民自身の英断で、日本とともに歩むことを選択していただきたいと思います。